

「健康経営銘柄」に6年連続で選定

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 最高執行責任者:谷原 徹、以下 SCSK)は、社員の健康管理を経営的な視点から考え、戦略的に取り組んでいる企業として経済産業省と東京証券取引所から「健康経営銘柄」に選定されましたのでお知らせします。

SCSKの「健康経営銘柄」への選定は、2015年の選定開始以来6年連続となり、6年連続で選定された企業は、上場企業3,776社^{※1}のうち6社のみです。

※1 2019年8月30日時点

1. 「健康経営銘柄」について

経済産業省が東京証券取引所と共同で、東京証券取引所の全上場会社の中から「健康経営」に優れた企業を選定し、第6回目となる2020年の健康経営銘柄には、30業種40社が選定されました。SCSKは、情報・通信業での選定となります。

「健康経営銘柄」の選定にあたっては、①経営理念・方針、②組織・体制、③制度・施策実行、④評価・改善、⑤法令遵守・リスクマネジメントという観点に加え、財務面でのパフォーマンス等も評価されています。



2. SCSKの取り組みと評価ポイント

SCSKは「夢ある未来を、共に創る」を経営理念とし、これを実現するための約束の一つ目に「人を大切にします。」を掲げ、さまざまな取り組みを進めています。そして取り組みの大前提が「社員の健康」であり、健康こそが全ての礎である旨を「健康経営の理念」として就業規則にもうたっています。

主な取り組みとしては「働き方改革」による残業削減・有給休暇取得の推進に加え、2015年からは役職員の99%が参加する、長期を見据えた総合的健康増進施策「健康わくわくマイレージ」を開始し、継続しています。さらに2019年度からは卒煙を希望する社員に対し、経営トップが応援の手紙を本人・家族へ送付し、卒煙プログラムを無償で提供する「卒煙チャレンジ」や、メタボリックシンドローム解消のために、健康リテラシー向上のセミナーや食事、運動機会に加え、ヘルスケア関連のデジタル機器を提供する「腹スマチャレンジ」も開始し、健康関連施策を拡充しています。

その他、健康保険組合とのコラボヘルスを加速させていることや「働きやすい職場づくり委員会」と連携した継続的な改善への取り組みが評価され、6年連続の選定となりました。

